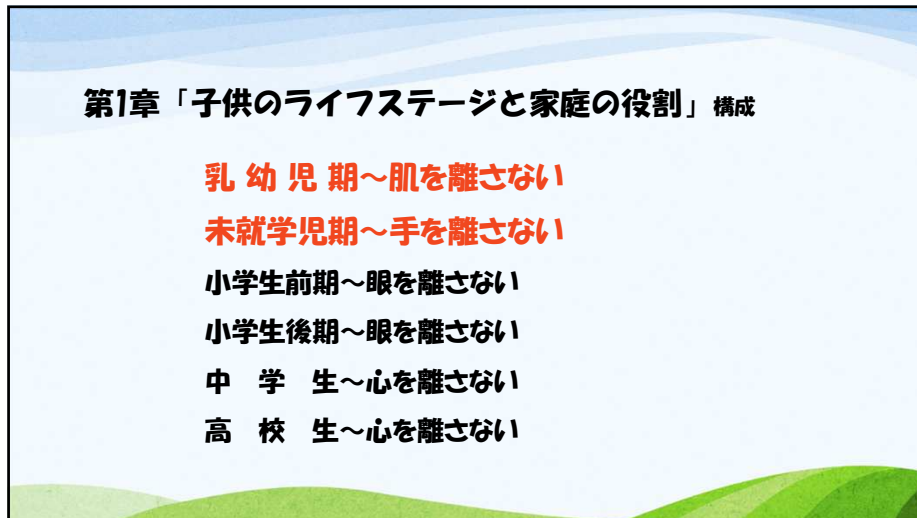




はじめに

- このパワーポイントの資料は、令和3年4月、島田市社会教育委員が島田市教育委員会からの諮問「家庭教育の在り方」に対して答申した提言書の乳幼児・未就学児編です。全編については本冊や配布資料をご覧ください。
- 内容は、第1章「子どものライフステージと家庭の役割」と第2章「家庭教育に悩んだ時の『処方箋』」で構成されています。
- 子育てをするお父さん、お母さんの家庭教育における羅針盤に！
- 子どもとともに成長しませんか！



乳幼児期～肌を離さない～

- ・赤ちゃんは、親を育てるために生まれてきてくれました。お父さん、お母さんとして歩むスタートです。
- ・赤ちゃんと一緒に成長しましょう。
- ・赤ちゃんは愛を食べて育ちます。肌を離さず愛情いっぱい育てます。



☆家庭は「家族それぞれが役割を補う場」

◇父親、母親になる準備をしましょう

◇夫婦で互いに声を掛け合い協力しましょう



☆家庭は「赤ちゃんがたくさん愛情を受ける場」

①

◇赤ちゃんにはたくさんのお話しかけ



◇歩けるようになったら野外へ



☆家庭は「赤ちゃんがたくさん愛情を受ける場」

②

◇ゆったりした気持ちで子どもとの付き合い

◇集団に入る準備を



☆家庭は「赤ちゃんがたくさん愛情を受ける場」

③

◇絵本の読み聞かせを



◇顔を合わせての相談の機会を



未就学児期～手を離さない～

- ・自己主張も強くなり、親をてこずらせることもあります。
- ・やみくもに叱るのではなく、「なぜいけないのか」「どうしてほしいのか」をわかりやすく伝えます。
- ・親としての心がまえを学び、手を離さないようにします。



☆家庭は「子どもが自分でできることを増やして、家族から認められる場」①

◇自分でできるまで焦らずに待つ



◇家族の一員として、簡単なお手伝いを任せましょう



☆家庭は「子どもが自分でできることを増やして、家族から認められる場」②

◇子どもの小さな要求に応えましょう



☆家庭は「家族が協力しあい、互いの役割分担を担う場」①

◇夫婦で仲良く話し合ひましょう



◇親としての心構えや、子どもとの接し方を学びましょう



☆家庭は「家族が協力しあい、互いの役割分担を担う場」②

◇子どものストレスを理解しましょう



第2章「家庭教育に悩んだときの「処方箋」」の構成

- ① 新たなメディア(スマホ等)との付き合い方に悩んだら
- ② 叱るとき、手を上げそうになった時は
- ③ 社会情勢が厳しくなる状況での子どもへの接し方
- ④ “いじめ”に悩んだら
- ⑤ ”問題行動“や”発達障害“に悩んだら

※詳細は、配布資料をご覧ください

- ※報告書市公式ホームページ掲載箇所URL
- <https://www.city.shimada.shizuoka.jp/kurashi-docs/shakaiyoikuinkai.html>

- ※報告書市公式ホームページ掲載箇所QRコード

